

7. 経費回収率向上に向けたロードマップ

国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について」(令和2年7月21日付け国水下企第34号)に基づき、経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

経費回収率向上に向け、下水道使用料の検証を行った結果、本町が今後も国庫補助を受け続けるためには下水道使用料の改定が必要になることが見込まれました。

今後、令和11年度を目途に料金改定を行う予定です。

また、毎年度計画数値と決算を比較することで、どの程度乖離が生じているかを把握し、重要指標による評価を行って経営の適切性について検証していきます。

(1) 経営戦略の目標

本町の下水道事業が将来にわたり持続的・安定的な汚水処理サービスを提供し続けていくには、財政状況を健全に保ちながら、計画的な投資を進める必要がありますので、計画期間中の経営目標を以下のとおり設定しました。

指標等	令和6年度 (実績)	令和11年度 (目標)	令和16年度 (目標)
投資に関する目標設定			
合併浄化槽を含む水洗化率(%)	75.3%	78.0%	80.0%
合併浄化槽の利用を含め、水洗化率を高めることによって下水道使用料収入の増加を図ります。そのために利用促進にかかる啓発を進めます。			
財政に関する目標設定			
経常収支比率(%)	106.1%	100%以上	100%以上
経費回収率(%)	69.7%	80%以上	100%以上
経常収支比率は引き続き100%以上を維持します。また、水洗化率の向上による下水道使用料収入の増加のほか、汚水維持管理を主とした経費削減の取組み、下水道使用料の改定等によって、経費回収率の改善を図ります。			

(2) 経営戦略の事後検証

「経営戦略策定ガイドライン」(総務省)に基づき、毎年度進捗管理(モニタリング)を行うとともに、5年に一度見直し(ローリング)を行います。

(3) 経費回収率向上に向けたロードマップの推進と点検、進捗管理の方法

経費回収率向上に向けたロードマップの推進のため、毎年度目標指標の達成状況を把握することで進捗管理を行います。

また、少なくとも5年に一度、下水道使用料改定の必要性について検討するなどして下水道事業の持続可能性の確認を行います。また、「計画(Plan)－実施(Do)－検証(Check)－見直し(Action)」を導入し、目標の達成状況等の確認や、改善策及び使用料改定の水準にかかる検証を行い、その内容について住民及び利用者、議会へ公表します。

(4)経費回収率向上に向けたロードマップ

区分	実施時期	概要	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	
経営戦略の改定							改定					改定		
経費回収率向上に向けたロードマップの策定・改定			策定				改定					改定		
施策														
ヒト 若手職員の指導育成（OJT）	毎年度継続	職員研修や指導育成により職員の経営意識改革を行い、財務マネジメント力を向上させることにより経費回収率向上に繋げる。	継続											
モノ ストックマネジメント計画に基づいた点検調査等の推進	令和2年度から継続	ストックマネジメント計画に基づく、点検修繕を行うことで、施設全体のライフサイクルコストの低減を図る。	継続											
カネ 接続促進（水洗化率向上）による使用料収入の増加	毎年度実施	未接続世帯への啓蒙活動により接続の促進を図り、使用料収入の増加を目指す。また、戸別訪問を行うなど、事業所に対する啓蒙活動を強化している。	継続											
下水道使用料の改定	令和11年度	令和11年度の料金改定を目指し、それに向けて令和8年度から適正な料金水準の検討と改定準備を実施する。		検討・改定準備			改定					検討・改定準備		改定